



次回の勉強会は

6月11日(水)9:30~11:30

(オーテピア 4階集会室 申込み・参加費は不要)

今回は創作のおはなしを多く楽しむことができました。聞き手の方からは「ストーリーが現実の社会情勢と重なると感じた」「登場人物に共感した」「聞いていて心地が良かった」との感想がありました。

5月 ストーリーテリング勉強会 の記録

2025年5月14日(水) 9:30~11:30
主催:オーテピア高知図書館 参加者:10人
場所:オーテピア 4階集会室

今月のおはなし

1 小石投げの名人タオ・カム 10分
『子どもに語るアジアの昔話 2』
(松岡 享子/訳 こぐま社)より
【語り手から】
おはなしの前半と後半で雰囲気の違いが出るようになれば良いと思います。練習を重ねたいと思います。

2 ボタンインコ 10~12分
『天国を出ていく』
(ファージョン/作, 石井 桃子/訳 岩波書店)より
【語り手から】
精進を続けます。日本にもスーザンのような子が数多いと思います。神の采配がいつかあると信じます。

3 パンドラ 11分
『ギリシア神話』
(石井 桃子/編・訳, 富山 妙子/画 のら書店)より
【語り手から】
様々なジャンルのおはなしを子どもに語ってあげたいと思い、覚えました。「苦しみ」という抽象的な主題は視覚で捉えにくい描写が多く、覚えるのに少し苦労しました。「子どもから大人まで届く話」というご感想がありがたかったです。

4 チム・ラビットとはさみ 13分
『チム・ラビットのぼうけん』
(アリソン・アトリー/作, 石井 桃子/訳, 中川 宗弥/画 童心社)より
【語り手から】
聞き手の皆さんから、「言葉のリズムや間の取り方が良かった」「語り手の表情も良く、絵が良く見えた」と感想をいただき嬉しかったです。

覚え始めた10年以上前の頃に比べると、イメージが良く描けるようになりました。チムの家族の温かさを伝えたいです。アトリー氏と石井氏の訳が素敵な作品だと思います。

5 ひとり、ふたり、さんにんの子ども 4分
『おはなしのろうそく 26』
(東京子ども図書館/編 東京子ども図書館)より
【語り手から】
保育園で語ろうと思って準備中です。聞くと楽しいおはなしだと思っていますが、作者の言葉使いを大切に語りたいと思います。

☆おはなしの所要時間は、語り手の方にお聞きしたものです。